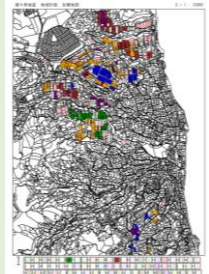


地域計画（モデル地区）の取組状況（令和6年11月末時点）

入り作及び新規就農者の確保				鹿児島県鹿児島市 瀬々串地区	
農業を担う者数 （うち担い手）	76経営体 （6経営体）	農地面積 （うち農振農用地）	51.6ha （51.4ha）	主な農畜産物	露地野菜
農業地域類型	都市的地域	遊休農地	—ha	現状の集積率 （目標）	45.1% （46.5%）

地域の現状と課題	将来の地域農業の方向性
・鹿児島市は県の中央部に位置し、東側には桜島がある。 ・瀬々串地区は、市の南部に位置し、市場に近い特性を活かして大根等の露地野菜の栽培が盛ん。 ・瀬々串地区は、上・中・下・浜田の4集落で形成されている。 ・上集落では、基盤整備が進み、担い手も6名いるなど農業が盛ん。 一方、他3集落においては、農地が狭小・不整形であり、桜島を臨むロケーションから、宅地化が進む地域で農地利用が難しい状況である。	 ・ダイコン、オクラ、スイートコーンなどの露地野菜の栽培を引き続き行う。 ・トレビスの栽培面積が増えており、リレー出荷が行えるよう栽培体系を確立していく。

協議を進める過程で発生した課題	取組経緯（課題への対応）及び今後の予定
・現状の栽培面積から拡大を希望する担い手が少ないことから、担い手への農地集積はあまり進まないことが見込まれる。今後は、農業を担う者の農地利用の推進や新規就農者の受け入れにより遊休農地の発生を防止する必要がある。	・令和5年1～2月、所有者を対象とした意向調査アンケートを実施。 ・令和5年3月末、第1回協議の場を実施。参集範囲は土地持ち非農家、地域の代表者、担い手及び関係機関で協議（約20名）。施策説明及び現況地図により協議したところ。 ・第1回協議の場開催後、地区の担い手を中心に個別ヒアリングを実施。 ・令和5年10月3日に第2回協議の場を実施。農業が盛んな上地区の担い手6名を中心に集積し、いかに効率よく経営できるか、農地交換はどうするかの話もあった。農地交換については、やや難色も、集約しながら面積拡大が必要であることは認識している。また、地域の農地維持のためには、入り作及び新規就農者の確保が必須であることを確認。 ・令和5年10月20日、協議の結果公表済み。 ・令和5年12月27日、農業委員会へ意見聴取（農委総会開催）。 ・令和6年3月29日地域計画公告  協議の場の様子  目標地図